

赤鬼大健闘

赤鬼の春Ⅱ 52

最後まで燃やせ赤鬼魂



速報新聞
発行所

キマグレ

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

7回は両チームとも打者3人で攻撃を終えた。本校は8、9回といずれもランナーを出しながらも先制点とはならなかった。守備面では、先発の増居翔太君(2-4)が9回を無安打14三振という庄巻のピッチングを見た。試合は0-0のまま延長戦に突入した。

7回

中山愛弓さん(2-7)は花巻東高校のプレーを見て「守備が上手く、打球が内野で止められてしまう。それを突き破る一本がほしい」とコメントし、選手に向けて「ロースコアの厳しい試合になると思うけれど、最後まで守って大きな1本を入れてほしい」とエールを送った。
吉川建太郎君(1-5)は「試合の展開が早い。1点が

大事になってくると思う。緊張がある展開なので、集中して試合に臨んでほしい」とメッセージを送った。
応援担当である木村優花先生は選手の様子を「昨夏に出場していた選手だけでなく、出ていなかった選手もみんな落ち着いて思いきりプレーしている」と話された。

8回

チアリーダーの田中美和さん(2-6)は試合展開について「どちらもテンポが良い」と話した。また応援に向けて「もっと声を出して笑顔で頑張りたい。力になれるような応援を届けたい」と意気込んでいる。
トレーナーの山根寛治さんは「増居が頑張っている。1点とってリベンジを果たしてほしい。頑張れ!」と野球部

の勝利に期待された。
H29年度野球部OBである條野正宗君(3-7)は増居君の投球を「この前よりも調子を上げてきている」と評価した。また試合の状況を見て「ここまできたら我慢比べ。どちらが均衡を破るかが鍵になってくるので、頑張ってください」と述べた。

9回

川口瞭介君(1-3)は増居君の投球を見て「増居さんがすごすぎる」と驚きの表情を浮かべた。また選手に向けて「暑くて体力的にも厳しいと思うけど、頑張ってください」とエールを送った。
中谷凌君(1-8)の父である功さんは息子の様子を「緊張しいだが、今日は思いきってしてくれている。見ていて楽しそう」と話された。

チアリーダーの伊藤亜友加さん(1-2)は9回表が終わって「0-0なので裏で守りきって延長戦まで持ち込んでほしい。あともうちょっとなので、精一杯頑張ってください」とメッセージを寄せた。
北川明照先生は「ホームラン1本打たれたら終わりだし、

投手も疲れがあると思う。一気に崩れていかないか心配」と不安を打ち明けられた。また「頑張れ!」と熱く応援された。

10回

奥井朋音さん(1-1)は選手に向けて「すごく接戦で見ている楽しい。初の二勝を目指して頑張ってください」とエールを送った。

チアリーダーの久保田しずくさん(1-8)は「どの回を見ても楽しくてどきどきする。興奮する試合」と話し笑顔を見せた。また「チアとして応援することができて本当にうれしい。ありがとうございます」と感謝の思いを述べた。同じくチアリーダーの小山綾乃さん(1-7)は「すごい試合で目が離せない。自分も応援を全力で頑張る」と応援に意欲を見せた。
中川素晴君(1-6)の母の真由美さんは「増居君が最高のピッチングをしてきているから、なんと少しでも得点してほしい」とコメントを寄せられた。また選手に向けて「最後まで楽しんで頑張れ!」と熱い声援を送られた。